

時間集計の設定

社員設定

「社員設定カード」「社員休憩設定カード」を使用すると、以下の処理が行えます。

●まるめ方式／まるめ単位時間の設定

本機は以下の時間集計時の端数処理(まるめ)を行う機能があります。

まるめ機能には、時刻まるめと時間数まるめの2種類があり、社員設定ではどちらかの処理方法を選択します。個人単位でこの処理機能を分けることはできません。

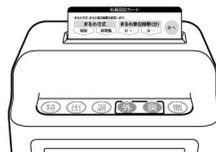
(時刻まるめと時間数まるめの詳細は10～13ページ参照)

メモ

集計方式が[⑧時間帯パート]または[⑨フリーパート]となっている場合、「まるめ方式／まるめ単位時間」はスキップします。

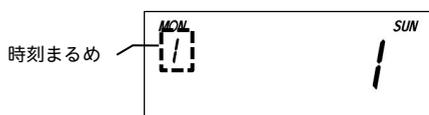
1 「社員設定カード」を差し込みます

- ・「まるめ方式」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。

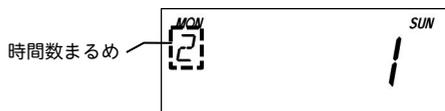


2 まるめ方式を設定します

- ・[時刻] (出) ボタンを押すと、時刻まるめが設定できます。(表示は1)
(MX-1000の時刻まるめの詳細は10ページ参照)
(MX-3000の時刻まるめの詳細は11ページ参照)

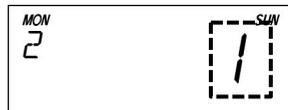


- ・[時間数] (退) ボタンを押すと、時間数まるめが設定できます。(表示は2)
(時間数まるめの詳細は13ページ参照)

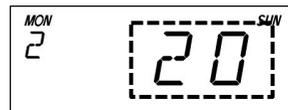


3 まるめ単位を設定します

- ・ [分+] (外) ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が進みます。
「1分→5分→10分→15分→20分→30分→60分→1分」



- ・ [分-] (戻) ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が戻ります。
「1分→60分→30分→20分→15分→10分→5分→1分」



※上記以外の単位を設定することはできません。

※初期値は「1 (1分単位)」になっています。

4 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定が登録され、「始業時刻／終業時刻」に進みます。

5 設定を終了する場合は、[次へ] (徹) ボタンを3回押し、最後に[確定] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

● 始業時刻・終業時刻の変更

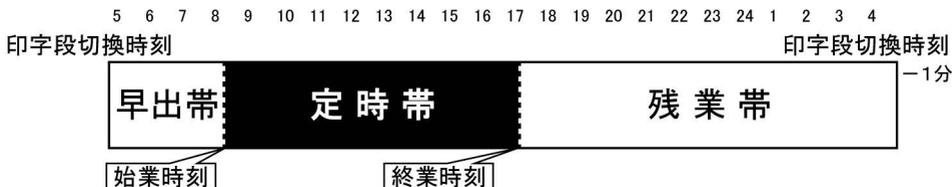
始業時刻と終業時刻の間が社員の「定時帯」となります。

終業時刻から印字段切換時刻の1分前までが残業帯となり、この時間帯の勤務を残業時間として集計します。

印字段切換時刻から始業時刻までの間が早出帯となります。ただし、早出については早出集計あり（ON）と設定された場合のみ時間集計をします。

メモ 初期値では、始業時刻 = 8:30、終業時刻 = 17:00 に設定されています。

例：初期値の場合



1 「社員設定カード」の見出しを「始業・終業」に合わせます

- ・「社員設定カード」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを押します。

2 始業時刻・終業時刻を変更します

- ・[始業時+] (出)ボタンを押すと始業時が1時間進みます。
- ・[始業分+] (退)ボタンを押すと始業分が1分進みます。
- ・[終業時+] (外)ボタンを押すと終業時が1時間進みます。
- ・[終業分+] (戻)ボタンを押すと終業分が1分進みます。



メモ それぞれのボタンを押し続けると、数値を早送りします。

3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- ・設定した始業時刻・終業時刻を確定し、「早出時間の集計」に進みます。

4 設定を終了する場合はさらに[次へ] (徹)ボタンを2回押し、[確定] (徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

● 早出時間の設定

早出時間の集計を設定します。

メモ 初期値は「OFF」になっています。

1 「社員設定カード」の見出しを「早出時間の集計」に合わせます

- ・「社員設定カード」を差し込み、[次へ](徹) ボタンを2回押します。



2 早出時間の集計を設定します

- ・[ON] (出) ボタンを押すと、早出時間の集計 ON に設定されます。
- ・[OFF] (退) ボタンを押すと、早出時間の集計 OFF に設定されます。

例：設定 OFF の場合



設定 ON の場合



3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・設定した早出時間の集計を確認し、深夜残業帯の変更へ進みます。

4 設定を終了する場合はさらに[次へ] (徹) ボタンを押し、[確定] (徹) ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

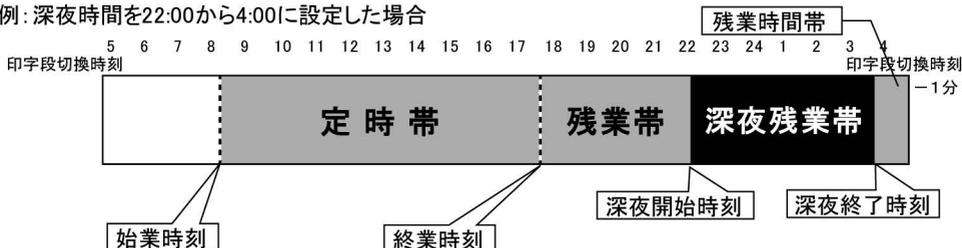
●深夜残業帯の設定

深夜残業帯を設定する方法です。

深夜開始時刻と深夜終了時刻を設定すると、その間の時間が深夜残業帯となり、月ごとの集計において、残業帯の残業時間と別項目で集計することができます。

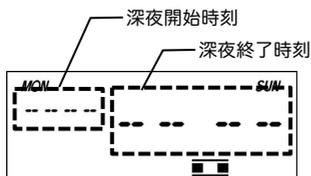
(日ごとの集計では、残業帯の残業時間数と、深夜残業帯の残業時間数の合計が印字されます)

例：深夜時間を22:00から4:00に設定した場合



1 「社員設定カード」の見出しを「深夜開始／深夜終了」に合わせます

- ・「社員設定カード」を差し込み、
[次へ] (徹) ボタンを3回押します。



設定なし (初期値はこの表示です)
深夜残業帯を設定しない場合に選択してください。



2 深夜開始時刻、深夜終了時刻をそれぞれ設定します

- ・ [深夜開始時+] (出) ボタンを押すと深夜開始時が1時間進みます。

メモ 深夜残業帯を設定しない場合は“-----”を選択してください

- ・ [深夜開始分+] (退) ボタンを押すと深夜開始分が1分進みます。
- ・ [深夜終了時+] (外) ボタンを押すと深夜終了時が1時間進みます。
- ・ [深夜終了分+] (戻) ボタンを押すと深夜終了分が1分進みます。

メモ それぞれのボタンを長押しすると、数値を早送りします。

3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定した深夜時間帯設定を確認し、勤務インターバル印字の設定へ進みます。

● 社員休憩時間帯の設定

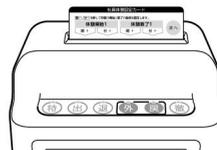
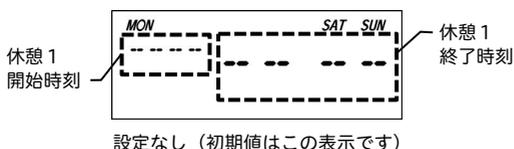
社員の休憩時間帯を設定します（1日に最大5時間帯まで設定できます）。

メモ

- ・ 休憩時間を連続・重複して設定することはできません。
- ・ 始業・終業時刻をまたいで休憩設定することはできません。（詳細は 53 ページ参照）

1 「社員休憩設定カード」を差し込みます

- ・ 「休憩開始／終了1」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止します。



2 休憩時間帯1を設定します

- ・ 休憩開始1の [時+] (出) ボタンを押すと休憩開始時が1時間進みます。

メモ

休憩時間1を設定しない場合は“-----”を選択してください。

- ・ 休憩開始1の [分+] (外) ボタンを押すと休憩開始分が1分進みます。
- ・ 休憩終了1の [時+] (戻) ボタンを押すと休憩終了時が1時間進みます。
- ・ 休憩終了1の [分+] (退) ボタンを押すと休憩終了分が1分進みます。

メモ

それぞれのボタンを長押しすると、数値を早送りします。

3 [次へ] (徹) ボタンを押します

- ・ [次へ] (徹) ボタンを押すと、休憩時間帯1の設定を確定し、休憩時間帯2の設定へ進みます。（「休憩開始／終了2」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止します。）

《休憩時間帯を複数設定する場合》

4 休憩2から休憩4の設定は、手順2、3を繰り返します

- ・ 設定したい休憩（休憩2、3、4、5）が見出しに来るまで[次へ] (徹) ボタンを押し、手順2と同様の操作で開始・終了時刻を設定→手順3と同様に[次へ] (徹) ボタン（休憩5の場合は[確定] (徹) ボタン）を押して、設定を確定します。

5 見出しが「休憩5」に来るまで[次へ] (徹) ボタンを押し、[確定] (徹) ボタンを押します

- ・ 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

●勤務インターバル印字の設定

集計方式が社員で退勤打刻した際に、退勤時刻から勤務インターバル間隔を加算した時刻が翌日の始業時刻を越えると、警告としてタイムカードの該当日に[#]マークを印字できます。(初期値：印字しない)

以下の例の場合は、退勤打刻 3:00+勤務インターバル間隔 9 時間=12:00 となり、始業時刻 8:30 を越えるため、タイムカードへ警告マーク[#]を印字します。

勤務間インターバル間隔：9 時間



✕ モ 初期値は「OFF」(勤務インターバル印字しない)になっています。

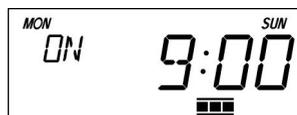
1 「社員設定カード」の見出しを「勤務インターバル印字」に合わせます

- ・「社員設定カード」を差し込み、
[次へ](徹)ボタンを4回押します。



2 勤務インターバル印字設定を変更します

- ・[ON](出)ボタンを押すと、勤務インターバル印字をONに変更します。
- ・[OFF](退)ボタンを押すと、勤務インターバル印字をOFFに変更します。
- ・勤務インターバル印字 ON が選択されているときに[時+](外)ボタンと[分+](戻)ボタンを押すと勤務インターバル間隔を変更します。



✕ モ [時+](外)ボタンまたは[分+](戻)ボタンを押し続けると、数値を早送りします。

3 [確定](徹)ボタンを押します

- ・勤務インターバル印字設定が登録されます。
- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。